

責任あるパーム油調達方針 進捗レポート
2021年1月～6月



2022年1月

不二製油グループ本社株式会社

前文

目指す姿

不二製油グループ 責任あるパーム油調達方針

不二製油グループは、2016年3月に「責任あるパーム油調達方針」を策定し、公表しました。同方針は、当社グループのサプライチェーンにおけるすべてのパーム油生産に対する「森林破壊ゼロ」「泥炭地開発ゼロ」「搾取ゼロ」(NDPE : No Deforestation, No Peatland and No Exploitation)のコミットメントを表明するものです。

KPI

不二製油グループでは、責任あるパーム油調達方針を強力に推進するためのマイルストーンとして、2020年6月に中長期 KPI を策定・公表しました。

1. 農園までのトレーサビリティ

- 2030年: 100%

2. 労働環境改善プログラム

- 2025年: Palmaju Edible Oil Sdn (マレーシア) の全サプライヤーに対して 100%
- 2030年: 全直接サプライヤーに対して 100%

本報告書について

責任あるパーム油調達方針の実施状況を、半年ごとにステークホルダーの皆様へ報告しています。本報告書は、2021年1月から2021年6月の期間での、NDPEを推進するためのトレーサビリティとサプライチェーン改善活動の進捗に焦点を当てています。

前文	1 ページ
進捗	2-6 ページ
1. トレーサビリティ	2 ページ
2. パルマジュ社サプライチェーンの改善活動	3-4 ページ
A. 変革のための自己評価ツール (T4T)	
B. 「搾取ゼロ」実践のための取り組み (LTP)	
C. 「森林破壊ゼロ」実践のための取り組み	
3. APT ランドスケープイニシアチブ	5 ページ
4. 小規模農家支援	6 ページ
お知らせ	7 ページ

1. トレーサビリティ

活動概要

サプライチェーンのトレーサビリティは、過去 10 年間、責任あるパーム油調達の重要な要素の 1 つとなっています。不二製油グループは、責任あるパーム油調達方針に則りサプライチェーンの透明性を確保するとともに、原産地までのトレーサビリティを徹底するため、サプライヤーとの連携を強化していきます。

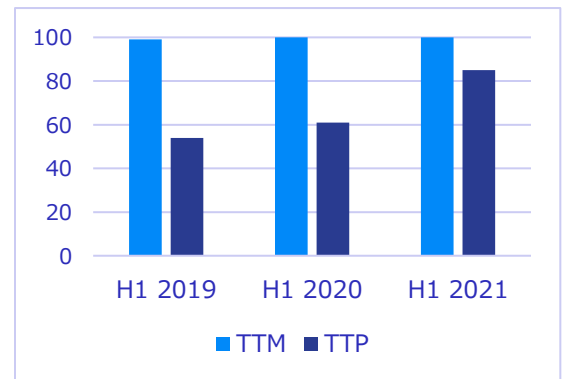
進捗

不二製油グループでは、2021 年 1 月から 2021 年 6 月までの期間において、引き続きパーム油の搾油工場までのトレーサビリティスコア

(TTM : Traceability To Mill) 100%を達成しました。

また、不二製油グループでは、同報告期間において、パーム油の農園までのトレーサビリティスコア (TTP : Traceability To Plantation) が 84%となりました。2019 年上半期の TTP スコアが 54%、2020 年上半期の TTP スコアが 59%であったことを踏まえると、今期の結果は大きな前進となりました。

しかし、小規模農家による生産が多いことから、スコアが変動する可能性を認識しています。当社グループは、特に農園レベルまでのサプライチェーンの透明性を向上させるために、主要サプライヤーと緊密に協力しながら、サプライチェーン上のすべての小規模農家までさかのぼるために最大限取り組んでいます。今後も当グループのコミットメント実現のために、TTP の早期達成に取り組めます。



図表 1: 不二製油グループ全体の
トレーサビリティスコア

2. パルマジュ社サプライチェーンの改善活動

活動概要

責任あるパーム油調達方針の実践戦略の一環として、当社グループの一次精製会社であるパルマジュエディブルオイル（マレーシア）のサプライチェーン上のサプライヤーに対して、Aggregator Refinery Transformation 計画（ART）を採用しています。

2016年以降、精製会社、搾油工場、農園など、サプライチェーンにおける様々なパートナーの参画を得るべく取り組んでいます。当社グループは、サプライチェーンにおける優先的な問題に焦点を当て、多くの具体的な変革活動を中心に実践戦略を展開しています。本レポートでは、**A. 変革のための自己評価ツール（T4T）**、**B. 「搾取ゼロ」実践のための取り組み（LTP）**、**C. 「森林破壊ゼロ」実践のための取り組み**の3つの活動をご紹介します。

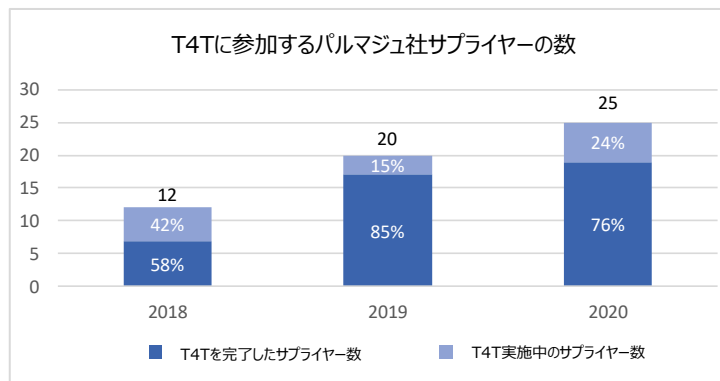
A. 変革のための自己評価ツール（T4T）

活動概要

不二製油グループでは、変革のための自己評価ツール（T4T：Tools for Transformation）を活用しています。T4Tは、当社グループのサプライチェーンの変革の取り組みを拡大するとともに、パーム油のサプライヤーが自社の取り組みを自己評価し、当社グループの責任あるパーム油調達方針の要件をサプライヤーがどの程度満たしているかを理解できるよう支援します。同時に、T4Tによって、実践的な提言をサプライヤーに迅速に提供し、サプライヤーが不二製油グループの方針を満たすための活動に関する助言を受けられるようにしています。サプライヤーの現状を当社グループの方針と照らして理解することができるので、このツールはサプライヤーと当社グループの双方にとって役に立ちます。

進捗

2021年上半期において、パルマジュ社サプライチェーンのサプライヤーに、継続して自己評価質問票への進捗状況の記録・更新に協力いただきました。サプライヤーによる質問票への回答を得られ状況の把握が出来ました。継続的な実施により、進捗状況の把握が可能になりました。当社グループは、今後も、NDPEのコミットメント達成のため、サプライヤーへのモニタリングと支援・協働を継続します。



図表 2：T4T アセスメントに参加するパルマジュ社のサプライヤー（搾油工場）の数

2. パルマジュ社サプライチェーン の改善活動

B. 「搾取ゼロ」実践のための取り組み（LTP）

活動概要

不二製油グループは、サプライヤーとのより効果的な取り組みのために、労働環境改善プログラム(LTP : Labour Transformation Programme)を立ち上げました。LTP は、サプライヤーにおける労働関連問題を特定し、サプライヤーが問題に取り組むための管理の仕組みを構築することを支援します。持続可能なパーム油を推進するパートナーである NPO の Earthworm Foundation と協力し、パルマジュ社の直接サプライヤーとのエンゲージメントを進めています。

進捗

2021 年上半期には、現在進行中の 2 社のサプライヤーとの LTP 取り組みが完了し、さらに 2 社のパルマジュ社の主要サプライヤーとの LTP 取り組みが開始される予定でした。そのための実地訪問が予定されていましたが、同期間にマレーシア全土での新型コロナウイルスの感染拡大によって移動の制限があり、現地視察と評価を完了することができませんでした。しかしながら、当社グループはサプライヤーと緊密なコミュニケーションをとり、オンラインでの対話・活動を通じた取り組みを検討しています。このオンラインでのエンゲージメントによって、世界的な新型コロナウイルスの影響のなかでも、評価を行う事が可能になります。すべての LTP 活動は 2021 年下半期へと延期されました。2021 年上半期時点で、パルマジュのサプライヤーの 40%が LTP に取り組んでいます。

C. 「森林破壊ゼロ」実践のための取り組み

活動概要

当社グループでは、パーム油農園の開発による森林破壊に対処するため、マレーシアのステークホルダーとエンゲージメントを続けています。具体的には、パルマジュ社に供給するサプライヤーの搾油工場が、パーム果房(FFB)の調達において森林破壊が無いことを確実にするための仕組みとプロセスを開発し、改良を進めています。この取り組みには、FFB ディーラーのように、小規模農家と搾油工場の間を介在する関係者も含まれます。エンゲージメントによって入手した農園までのトレーサビリティ情報をもとに、衛星技術を利用して森林破壊の状況の有無を確認しています。

進捗

搾油工場レベルの森林破壊ゼロの取り組み

2 社の取り組みが予定されていましたが、2021 年上半期のマレーシアでの新型コロナウイルスの感染拡大に伴う移動制限により、現場を訪問しての取り組みは実施することができませんでした。

森林破壊への関与のない状態（Deforestation Free）の検証

当社グループは、Earthworm Foundation およびその他のステークホルダーとの協力のもと、サプライチェーンデータ(衛星モニタリングデータおよびトレーサビリティデータなど)に基づいて、パルマジュ社のマレーシア半島のサプライチェーン（小規模農家と農園を含む）の 83%が森林破壊への関与のない状態であることを認識しました。不二製油グループは、森林破壊ゼロのコミットメントを達成できるよう、農園までのトレーサビリティデータの継続的な改善に取り組んでいます。

3. APT* ランドスケープ イニシアチブ

* Areas for Priority Transformation

活動概要

不二製油グループは、森林破壊に取組み、農作物調達にかかる生産・自然保護・適切な社会および労働慣行のバランスを保つことの実現可能性を示すために、2018年よりインドネシアのアチェ・タミアン地域を支援しています。インドネシアは、当社グループのサプライチェーンの重要な調達先です。持続可能性を実現するためのパートナーである Earthworm Foundation と協力しながら、このランドスケープイニシアチブに引き続き参画していきます。

進捗

インドネシアでは、2021年6月末にかけて、新型コロナウイルスの感染拡大の大きな影響を受けましたが、これらの課題にもかかわらず有意義な成果を残すことができました。

- アチェ地域の調査及びリスク評価後、5つの地区が潜在的な介入余地のある地域として提案され、Subulussalam 地区が初年度のパイロット地域として選ばれました。同時に、Earthworm Foundation は調査結果を地域開発公社 (BAPPEDA : Subulussalam District of Agriculture, Office of Mampower, and Regional Development Planning Agency) に提出し、フィードバックとインプットを求めました。
- PT Laot Bangko は、長年にわたり森林破壊への関与が懸念されてきた現地企業ですが、同社との取り組みを通して、紛争解決や小規模農家との関係構築における指導を実施するとともに、同社においてもグリーンバンスメカニズムを導入することになりました。
- Earthworm Foundation は各地方自治体と調整会議を持ち、プロジェクト活動計画を案内しました。この活動計画には、森林破壊、土地所有権、代替生計手段、パームの小規模農家への植林プログラム、労働、食料安全保障といった問題への取り組みを含みます。この会議の結果、土地の所有状況を示す地図の作成や土地所有ワークショップの実施について、地元政府の支援を得られることとなりました。
- 2000年から2019年にかけての土地利用の変化に関連する温室効果ガス排出量を推定するための基礎調査が実施されました。この基礎調査は、アチェ地域全体で実施された土地利用に関する炭素調査のうち、時間的および空間的に最も包括的な調査の1つです。



図表 3 : インドネシア アチェ地域



図表 4 : Subulussalam 地区政府が主催し、Earthworm Foundation が主導したマルチステークホルダー・ワークショップ

4. 小規模農家支援

概要

持続可能なパーム油生産への小規模農家の巻き込みは、パーム油産業の中で最も大きな課題の一つです。環境的、社会的、経済的に持続可能な方法で農園を運営するためのノウハウを小規模農家が獲得できるように、不二製油グループは 2016 年 1 月より、他企業および NPO である Wild Asia とともに、Wild Asia Group Scheme (WAGS)を通じて小規模生産者を支援しています。不二製油グループはサバ州(マレーシア)で 2 件のプロジェクトに参画しています。**認証取得支援プロジェクト**では、小規模農家が RSPO と MSPO の認証を取得するために、トレーニングと技術提供を通して、農園経営の慣行の改善を支援しています。**WAGS BIO (バイオ) プロジェクト**では、小規模農家の収益向上、土壌改善、農地の地中の生物多様性の改善を目的として、農家を対象に栽培方法の研修を行っています。

進捗

新型コロナウイルスの感染拡大の状況下ではありましたが、チームは小規模生産者の支援を続けることができました。**認証取得支援プロジェクト**では、当社グループの支援により、2020 年 6 月から 2021 年 5 月にかけて、サバ州の 117 軒の小規模農家がトレーニングと認証取得のための管理面での支援を受けました。サバ州の移動制限の間は活動のデータ管理に重点を置き、移動制限が解除されている間はフィールドワークを実施し、Wild Asia のチームが農家を訪問することができました。不二製油グループは 2016 年 1 月から WAGS を通じた小規模農家の認証取得を支援しており、支援農家の総数は累計で 423 軒にのぼります。当社グループは、小規模農家の巻き込みのための、この長期にわたる堅調な取り組みが重要であると考えています。

WAGS BIO プロジェクトは現在パイロット段階にあり、BIO パイロット農場の拡大に焦点を当てています。トレーニングの結果、報告期間中、新たに 5 区画が BIO 農場として指定されました。このことは、これらの区画が Wild Asia によって定義された「BIO 農場」の基準を満たしているということの意味しています。一部の農場では、化学肥料を購入するコスト削減だけでなく、収穫量が安定している換金作物をアブラヤシ農園の中で育成する方法によって利益を得ることができました。



図表 5: 廃棄する葉から BIO 肥料を生成する方法のトレーニング



図表 6: アブラヤシの周囲に BIO 肥料を散布



図表 7: WAGS BIO 農場の換金作物

お知らせ

報告書の整合について

これまで、不二製油グループは、統合報告書、サステナビリティレポート、責任あるパーム油調達方針の進捗レポートなどを通じて、責任あるパーム油調達方針の進捗状況をステークホルダーの皆様にお伝えしてきました。

今年より、責任あるパーム油調達方針進捗レポートとサステナビリティレポートを統合することで、ステークホルダーの皆様に進捗をより分かりやすくお伝えしていきます。サステナビリティレポートには、NDPE の実施に向けて実施されている重要なプロジェクトおよび活動に関する情報が網羅され、年次での進捗状況が報告されます。責任あるパーム油調達方針進捗レポートは、サステナビリティレポートのパーム油ページで報告した情報の中間進捗を報告するものとして位置付けられ、サステナビリティレポートの報告期間終了後から 6 カ月間の主要な進展が、進捗状況として報告されます。この媒体間の整合は、2022 年度に実施されます。この整合は、読みやすさと報告の効率性を改善することを意図しています。レポートに対する基本的な考え方は、このことによる影響を受けません。トレーサビリティおよびグリーンバンスの進捗に関する最新情報は、[サプライチェーンデータベース](#)および[グリーンバンスリスト](#)を通じて継続的に更新されます。

当面の進捗報告の予定：

サステナビリティレポート 2022（2022 年下半年期発行予定）

責任あるパーム油調達方針進捗レポート（2023 年上半年期発行予定）